

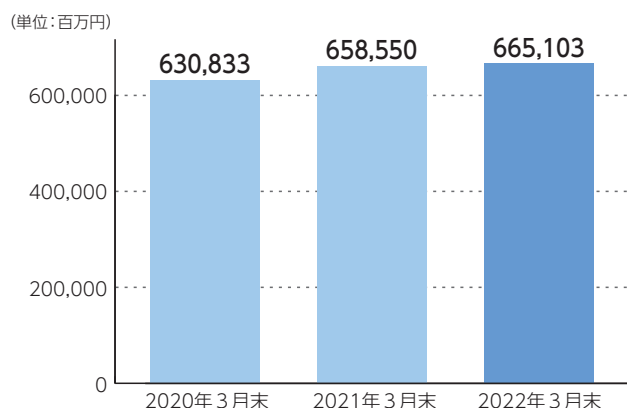
2021年度 業績の概要

※計数はすべて単体ベースで表示しています。

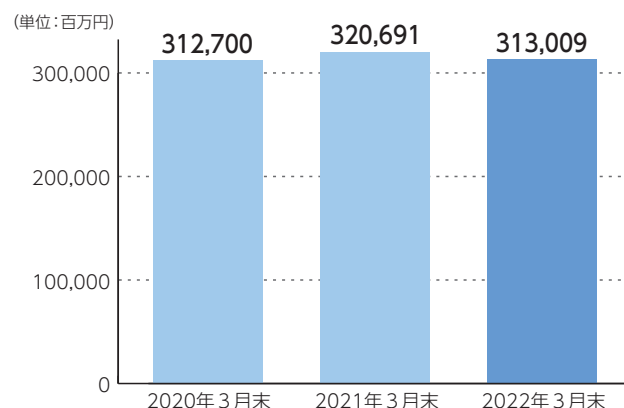
預金・貸出金の状況

お客さまとの日々の対話を大切にし、それぞれのお客さまのニーズや課題に適したご提案に努めた結果、3月末の預金残高は前期末比65億円増加し、6,651億円、貸出金残高は前期末比76億円減少し、3,130億円となりました。

◆ 預金・積金残高



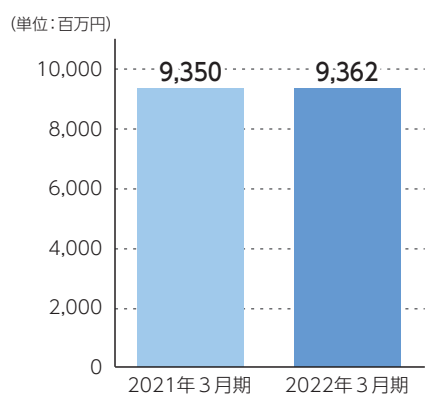
◆ 貸出金残高



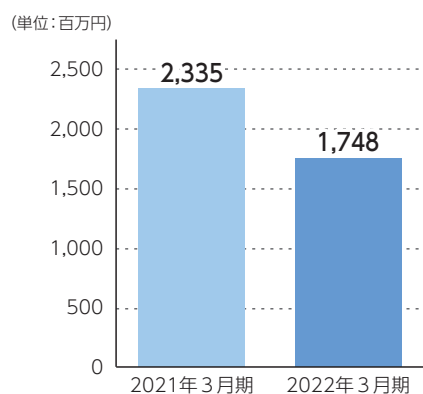
利益の状況

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、これまでどおりお客さま本位の活動に努め、地域の多くの方々に当金庫の金融機能・サービスをご利用いただきました。また、適切なリスク管理や経費管理などに努めたことから、引き続き安定した利益を計上することができました。

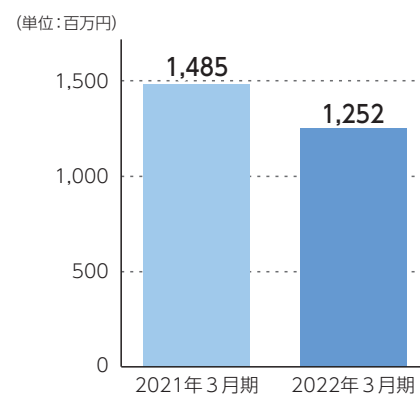
◆ 経常収益



◆ 経常利益



◆ 当期純利益



(単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期
経常収益	9,350	9,362
業務純益	2,427	2,564
コア業務純益	1,666	1,683
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く。)	1,666	1,683
経常利益	2,335	1,748
当期純利益	1,485	1,252

【用語のご説明】

●業務純益

預金積金利息などの資金調達費用をはじめとする業務費用から金銭の信託運用見合費用を控除した額を、貸出金利息などの資金運用収益をはじめとする業務収益から差し引いて算出するもので、信用金庫の主な業務によって得た純利益を表しています。

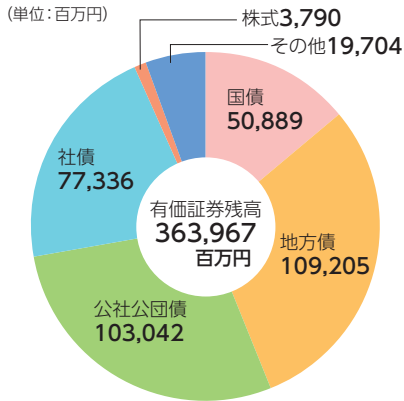
●コア業務純益

業務純益に一般貸倒引当金繰入額を加え、国債等債券5勘定戻(国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却)を控除したもので、金融機関本来の事業活動のみの利益を表しています。

有価証券の状況

国債、地方債、政府保証債を中心に安全性・流動性に留意しながら運用しています。

◆ 有価証券残高構成



(注) 「社債」は、「金融債」及び「事業債」です。
「その他」は、「投資信託」、「外国証券」及び「その他の証券」です。

◆ 有価証券の時価等情報

■ その他有価証券

(単位:百万円)

区分	貸借対照表計上額	取得原価(償却原価)	評価差額
株式	3,142	2,144	998
債券	340,393	342,614	▲2,221
国債	50,889	51,881	▲992
地方債	109,205	109,259	▲53
社債	180,298	181,473	▲1,175
その他	19,661	20,072	▲411
合計	363,197	364,831	▲1,634

(注) 1. 貸借対照表計上額は、3月末日における市場価格等に基づいています。
2. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は含みません。

■ 満期保有目的の債券

(単位:百万円)

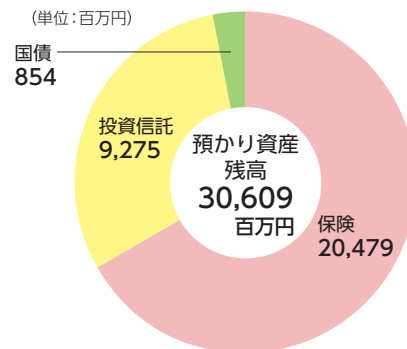
区分	貸借対照表計上額	時価	評価差額
債券(社債)	80	78	▲1
合計	80	78	▲1

(注) 時価は、3月末日における市場価格等に基づいています。

預かり資産の状況

営業店職員とマネーアドバイザー(資産運用支援部所属の預かり資産専任職員)が連携しながら定期的にお客さまを訪問し、それぞれの資産状況や運用方針にあわせて、さまざまな情報を分かりやすくお伝えし、ニーズに合わせた商品をご紹介する活動に努めました。

◆ 預かり資産残高構成



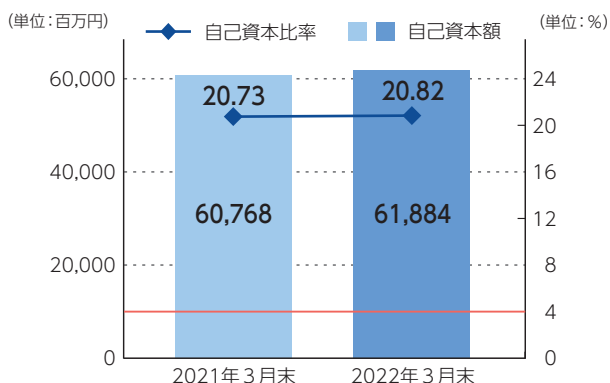
(注) 1. 「投資信託」は、3月末日における市場価格等に基づいています。
2. 「保険」は、「年金保険」「終身保険」「学資保険」です。

自己資本の状況

当金庫の自己資本は、会員の皆さまの出資金や、每期安定した利益を計上して積み上げてきた内部留保等によって構成されています。

自己資本比率を算出する際の分母となる「リスク・アセット等」が増加しましたが、安定した利益を計上することができたことから、経営の健全性・安全性を示す自己資本比率は20.82%となり、国内基準(4%)を大幅に上回る高い水準を維持しています。

◆ 自己資本額・自己資本比率



(単位:百万円)

	2021年3月末	2022年3月末
自己資本 (A)	60,768	61,884
リスク・アセット等 (B)	293,031	297,212
自己資本比率 (A/B)	20.73%	20.82%

【用語のご説明】

● 自己資本比率

リスクに応じて計算された資産(=リスク・アセット)に対する自己資本の割合を表すもので、金融機関の健全性を示す重要な指標とされています。

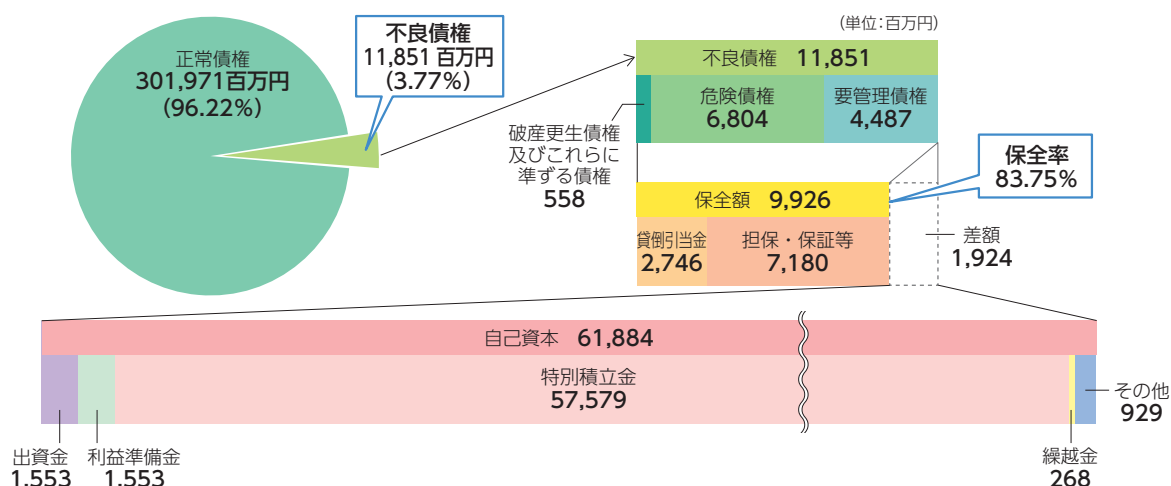
2021年度 業績の概要

※計数はすべて単体ベースで表示しています。

金融再生法に基づく開示債権の状況

お客さまの資金繰りの円滑化に努めるとともに、地域事業振興部を中心に本部と営業店が連携し、経営改善や経営力の強化に積極的に取り組みました。

当金庫では、厳格な基準のもと償却・引当を行い、不良債権に係る会計上の処理はすべて完了しています。不良債権額と保全額との差額1,924百万円に対し、当金庫の自己資本の構成の中心となっている内部留保額は59,401百万円であり、経営に与える影響は極めて少なく、健全性を十分に確保しています。



【用語のご説明】

●破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

●危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態・経営成績が悪化し、契約に従った債権元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

●要管理債権

「3か月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。

●正常債権

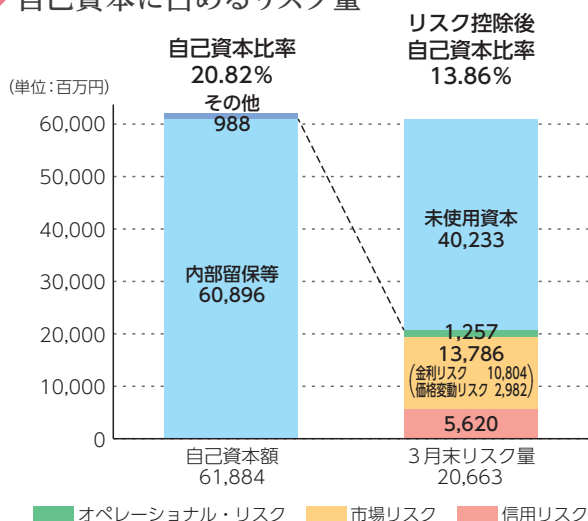
債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

統合的なリスク管理の状況

当金庫では、個々のリスクを一元的に管理し、経営体力(=自己資本)の範囲内でコントロールすることで、経営の健全化及び収益力の向上に努めています。

3月末におけるリスク量がすべて顕在化したと仮定した場合の自己資本比率も13.86%であり、国内基準を大幅に上回る水準を維持しています。

◆ 自己資本に占めるリスク量



【用語のご説明】

●信用リスク

取引先の倒産や財務状況の悪化などにより、当金庫の資産の価値が減少ないし消失し、損失を受けるリスクのことです。

●金利リスク

資産と負債の金利または期間のミスマッチが存在している中で金利が変動することにより、利益が低下し損失を被るリスクのことです。

●価格変動リスク

有価証券の価格の変動に伴って資産価値が減少するリスクのことです。

●オペレーショナル・リスク

業務上における不適切な処理等で生じる事象により損失を受けるリスクのことです。当金庫では、事務リスク、システムリスク、その他のオペレーショナル・リスク(法務リスク、風評リスク、人的リスク、有形資産リスク等)を含む幅広いリスクとして捉えています。

財務諸表・主要な経営指標の推移

◆ 第72期貸借対照表

(2022年3月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
現金	4,569	預金積金	665,103
預け金	52,631	譲渡性預金	9,180
有価証券	363,967	借入金	3,786
貸出金	313,009	コールマネー	4,503
外国為替	231	その他負債	1,900
その他資産	4,165	退職給付引当金	1,223
有形固定資産	10,899	その他の引当金等	314
無形固定資産	53	再評価に係る繰延税金負債	690
繰延税金資産	1,413	債務保証	575
債務保証見返	575	負債の部合計	687,276
貸倒引当金	△ 3,557	(純 資 産 の 部)	
		出資金	1,553
		利益剰余金	59,461
		処分未済持分	△ 58
		会員勘定合計	60,955
		その他有価証券評価差額金	△ 1,182
		土地再評価差額金	908
		評価・換算差額等合計	△ 273
		純資産の部合計	60,681
資産の部合計	747,958	負債及び純資産の部合計	747,958

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

◆ 第72期損益計算書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	金 額
経常収益	9,362,827
資金運用収益	7,733,552
役員取引等収益	591,453
その他業務収益	995,266
その他経常収益	42,555
経常費用	7,614,636
資金調達費用	174,221
役員取引等費用	814,666
その他業務費用	29,474
経費	5,753,385
その他経常費用	842,889
経常利益	1,748,191
特別利益	4,712
特別損失	140,438
税引前当期純利益	1,612,464
法人税等合計	360,196
当期純利益	1,252,267

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

◆ 主要な経営指標の推移

(単位:百万円)

	2019年度	2020年度	2021年度
預金積金残高	630,833	658,550	665,103
貸出金残高	312,700	320,691	313,009
経常収益	9,831	9,350	9,362
経常利益	2,328	2,335	1,748
当期純利益	1,768	1,485	1,252
出資総額	1,609	1,586	1,553
出資に対する配当金 (出資1口当り):(円)	20	20	20
自己資本比率	20.49%	20.73%	20.82%
不良債権比率	2.58%	2.75%	3.77%